

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【公開番号】特開2004-338192(P2004-338192A)
 【公開日】平成16年12月2日(2004.12.2)
 【年通号数】公開・登録公報2004-047
 【出願番号】特願2003-136553(P2003-136553)
 【国際特許分類】

B 2 7 C 5/10 (2006.01)

B 2 5 F 5/00 (2006.01)

【F I】

B 2 7 C 5/10

B 2 5 F 5/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月3日(2006.3.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 モータと、該モータを収納するハウジングと、前記モータのモータ軸に取付けられたラジアルファンとを有した携帯用電動工具であって、前記ラジアルファンは、前記モータ軸への取付け部分となる筒形状をしたハブと、該ハブの一部が連結した複数の羽根と、すべての該羽根の一部と連結されリング状をし、前記羽根を介して前記ハブと連結されたガイド部とを有する形状をし、且つ前記ガイド部に前記羽根よりも前記モータ軸を中心とした半径方向外側に突出した錘部を連結させたことを特徴とする携帯用電動工具。

【請求項2】 前記羽根は、前記ハブよりも前記モータ軸を中心とした半径方向外側に突出した形状をしていることを特徴とする請求項1記載の携帯用電動工具。

【請求項3】 前記ガイド部は、前記羽根の前記ハブとの連結部分と対向する部分に連結されていることを特徴とする請求項1あるいは請求項2記載の携帯用電動工具。

【請求項4】 前記ラジアルファンの重心位置が、前記ハブの前記モータ軸に対する取付け部分の軸方向の範囲内に位置することを特徴とする請求項1～請求項3のいずれか1項記載の携帯用電動工具。

【請求項5】 前記錘部の重心位置が、前記ハブの前記モータ軸に対する取付け部分の軸方向の範囲内に位置することを特徴とする請求項1～請求項4のいずれか1項記載の携帯用電動工具。

【請求項6】 前記錘部の半径方向寸法を前記ハウジング内壁の半径方向寸法より若干小さい寸法としたことを特徴とする請求項1～請求項5のいずれか1項記載の携帯用電動工具。

【請求項7】 前記ハウジング内壁の前記錘部と相対する部分に段差を設けたことを特徴とする請求項1～請求項6のいずれか1項記載の携帯用電動工具。

【請求項8】 前記ラジアルファンは高比重材により形成されていることを特徴とする請求項1～請求項7のいずれか1項記載の携帯用電動工具。